

 **太陽ホールディングス株式会社**
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.

〒171-0021 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号
メトロポリタンプラザビル16階
TEL: 03-5953-5200(代表) FAX: 03-5953-5210
<http://www.taiyo-hd.co.jp>



 **太陽ホールディングス株式会社**
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.



社会を照らす、未来を照らす
CSRレポート 2019

明日の地球にできること

太陽HDグループは、ソルダーレジストのトップメーカーです。当社グループの製品は、一般の方の目に触れる機会は多くありませんが、家庭やオフィス、その他生活の身近にあるあらゆる電子機器に使用され、安全で豊かな暮らしを支えています。ステークホルダーから信頼され、共感される企業であり続けるために、これからも事業を通じて社会の持続的な発展に貢献していきます。



2019年6月1日現在

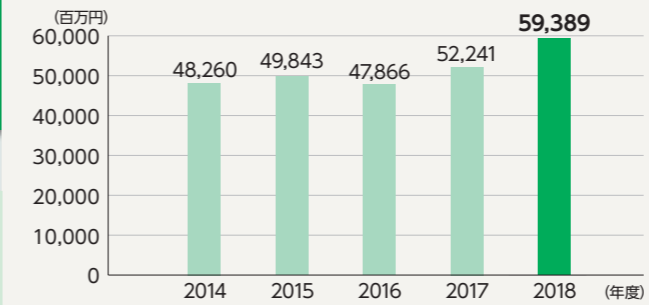
■ 会社概要 (2019年3月31日現在)

社名：太陽ホールディングス株式会社
 英文社名：TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
 本社所在地：東京都豊島区西池袋一丁目11番1号
 メトロポリタンプラザビル16階
 電話番号：03-5953-5200(代表)
 設立年月日：1953年9月29日
 事業内容：持株会社、グループ全体の経営方針策定
 および経営管理
 資本金：93億3,191万円
 従業員数：連結1,614名/単体107名

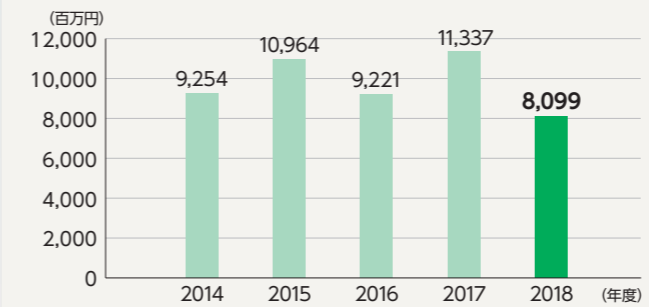
■ プロフィール

当社は1953年に印刷用インキの製造販売会社として設立し、その後1976年にエレクトロニクス業界向けのソルダーレジストを主力製品とする事業に大転換いたしました。現在は商号を設立時の「太陽インキ製造株式会社」から「太陽ホールディングス株式会社」に変更し、2013年4月には経営理念の改定を行うなど、常に時代にあわせて進化を続けていますが、設立時の「太陽のように社会を照らし、人々の役に立つ存在でありたい」という想いはそのままに受け継ぎ、これからも皆様に愛される企業グループを目指していきます。

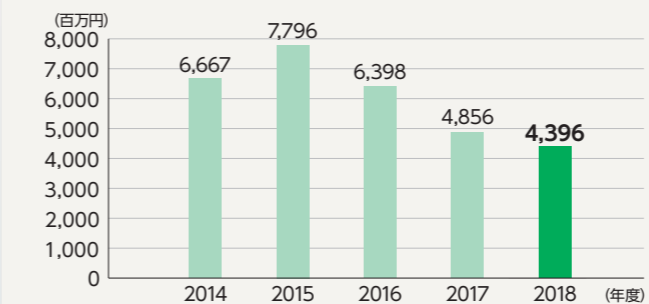
■ 売上高の推移(連結)



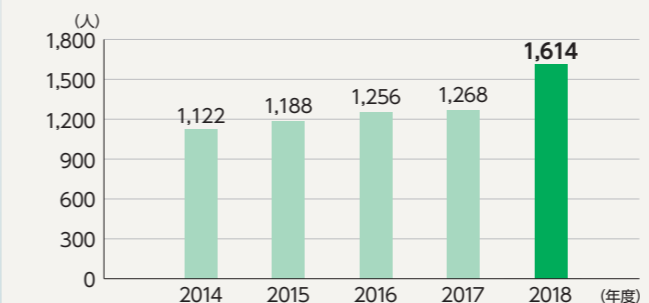
■ 営業利益の推移(連結)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益の推移(連結)



■ 従業員数の推移(連結)



CONTENTS

- 03 トップコミットメント
- 04 経営理念・CSR理念・行動規範
- 05 ハイライト：2018社会貢献活動報告
「明日の地球にできること」を着実に

マネジメント

- 07 2018年度CSR活動の実績と今後の目標
- 08 コーポレートガバナンス
- 08 コンプライアンスに関する取り組み
- 09 リスクマネジメントに関する取り組み

社会性報告

- 10 株主の皆様との関わり
- 11 地域・社会との関わり
- 13 社員との関わり
- 15 お客様との関わり
- 15 お取引先との関わり

環境報告

- 16 環境方針と環境マネジメントシステム
- 17 環境負荷低減の取り組み
- 19 事業活動と環境との関わり
- 20 法規制測定データ集

■ 編集方針

本レポートでは、太陽ホールディングスグループ(以下、当社グループ)のCSRへの取り組みを特集としてご紹介し、続けて「マネジメント」「社会性報告」「環境報告」の3章を柱としています。また、専門的でわかりにくい用語については、「用語解説」を設け補足しています。

■ 対象期間・対象範囲

本レポートの活動対象期間は、2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)です。対象範囲は、太陽ホールディングス(以下、「太陽HD」または「当社」)本社ならびに太陽インキ製造(以下、「太陽インキ」)本社、太陽グリーンエナジー(以下、「太陽GE」)、太陽HD嵐山事業所(以下、「嵐山事業所」)、太陽インキ北九州事業所(以下、「北九州事業所」)のマネジメント・社会性・環境の3側面における活動です。活動対象期間が異なる場合は、該当箇所に別途記載しています。

■ 発行年月

2019年6月(次回予定:2020年6月)

新たな事業の創出とグループの成長を通じて 社会的責任を果たしてまいります

2018年度を振り返って

太陽HDグループが永続的に成長していくためには「自律型人材の育成」と「新規事業の創出」が重要であり、優秀な人材を育てていくには会社として「職場環境」「公正な評価・給与」「仕事のやりがい」この3つの施策をバランスよく取り続けることが必要であると考えています。

その考えのもと2018年度は、社員の創造力を刺激し、個々の能力を十二分に発揮できるように、太陽HD本社を増床しました。

気軽にコミュニケーションが取れるよう、フリースペースを設けました。フリースペースには床暖房を完備し、鏡張りでラジオ体操やヨガなど多目的での活用を実施していきます。

今後も社員が楽しく働ける環境づくりに取り組んでいきます。

新規事業の創出

当社グループは、主力製品のソルダーレジスト関連の製品については市場シェアの拡大、また、その他の製品についてはソルダーレジストに続く利益の柱となるような新製品を継続的に生み出し、迅速に事業化する体制を構築するべく取り組んでいます。新製品の開発は、営業部門や生産現場を含めて事業そのものを創り出していく「事業開発」と同義であると考えており、社員全員と共有しています。

2019年3月には太陽ファルマが、長期収載品13製品の製造販売承認および製造販売権等を譲り受け、本格的に医療・医薬品事業を開始しました。

今後も品質・安全を第一に新規事業を創出していきます。

CSRの理念を念頭に

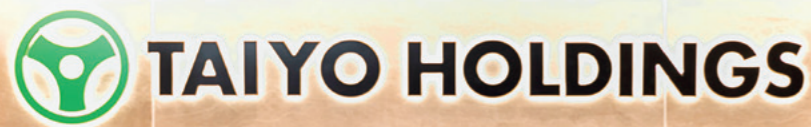
当社グループは創立以来、株主、顧客、取引先をはじめ多くのステークホルダーの方々の信頼を得て発展してまいりました。今後も引き続き当社がその信頼に応え、共に発展していくために、すべての役員、社員が倫理・法令を遵守し、常に前向きな姿勢で事業活動に取り組み、企業の社会的責任を果たします。この責任を果たしていくために、「CSR理念」「行動規範」を定め、各種マネジメントシステム・委員会からなるCSR組織で様々なCSR活動を行っています。

2018年度は、「エネルギーの消費者から生産者へ」という取り組みのもと、新たに兵庫県加古郡に「穴沢池水上太陽光発電所」、魚住池草谷池水上太陽光発電所、奈良県大和郡山手に「小林池水上太陽光発電所」を開所しました。

上記3基に加え、当社グループが保有している発電所全5基で、年間合計約1,768トンのCO₂削減が見込まれます。

また、地域の活性化に寄与することを目的に高品質イチゴのハウス栽培を開始し、「ミガキイチゴ」として首都圏を中心とした百貨店、小売店で販売されています。さらに、地域のイベントやボランティア活動への参加、社員食堂での地元食材の使用など、地域社会に根差した活動をしています。これからも、役員、社員一同、より一層積極的にCSR活動に取り組み、社会から信頼される企業を目指してまいります。

2019年6月



代表取締役社長

佐藤 英志

経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

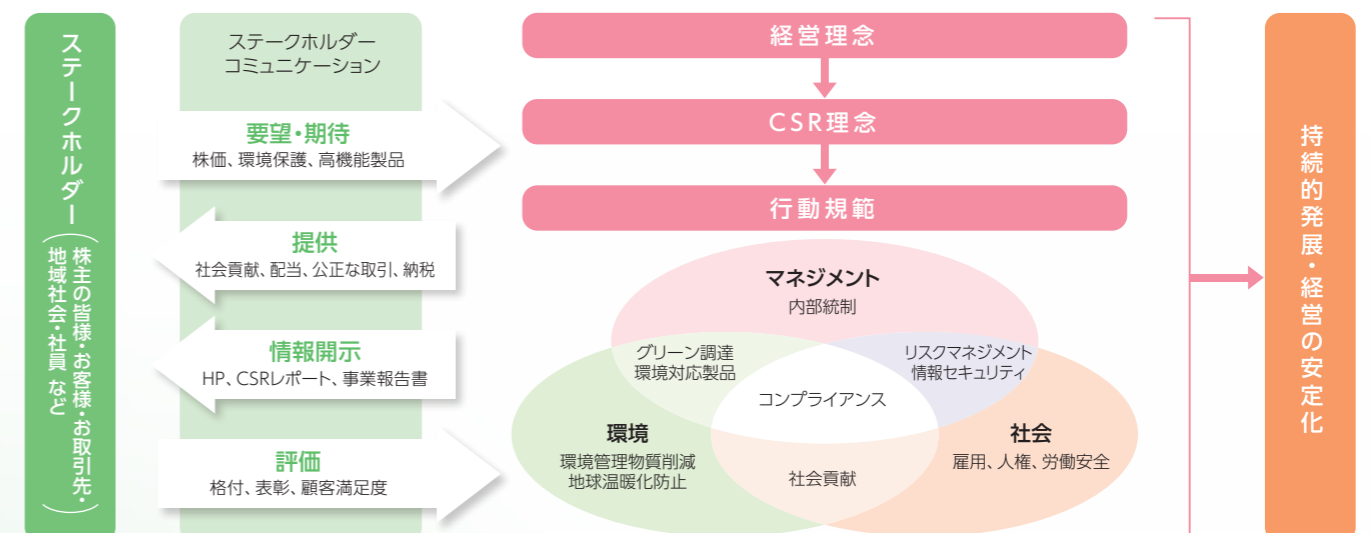
CSR理念

わが社は法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。

行動規範

CSR理念を実現させるために、次の各項を定め行動します。

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 倫理・法令遵守 | 私たちは、事業活動にあたって法令その他の社会的規範を遵守し、その精神を理解して公平かつ公平に行動します。 |
| 2. 職場の環境 | 私たちは、社員の人権を尊重し、公平で差別のない職場をつくりまします。 |
| 3. 公正な取引の実施 | 私たちは、全ての取引先に誠意をもって接するとともに公平かつ適正な取引条件を設定し、事業活動を行います。 |
| 4. ステークホルダーの尊重 | 私たちは、常に全てのステークホルダー(利害関係者)の立場を尊重し事業活動を行い、また、開示すべき情報は適時・適切に公表します。 |
| 5. 秘密の保持 | 私たちは、取引先の秘密情報、自社の秘密情報ならびに個人情報に漏洩しないよう管理を行います。 |
| 6. 品質の確保(品質方針) | 私たちは、お客様に満足していただける品質と安全性を確保し提供します。 |
| 7. 環境の保全(環境基本理念) | 私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。 |
| 8. 情報セキュリティの確保(情報セキュリティ基本理念) | 私たちは、お客様の信頼と満足を得ることを目的として、すべての情報資産に対する機密性、完全性、可用性の確保・向上に努めます。 |
| 9. 社会貢献活動 | 私たちは、社会の一員として社会貢献活動を行います。 |
| 10. 知的財産権の尊重 | 私たちは、創作したまたは保有する知的財産権を適切に保護するとともに第三者の知的財産権も尊重します。 |
| 11. 反社会的勢力の排除 | 私たちは、反社会的勢力に対し、不法・不当な要求には一切応ずることなく、毅然とした態度を貫きます。 |



2018社会貢献活動報告

「明日の地球にできること」を着実に

2018年度に当社グループが実施した主な社会貢献活動です。私たちは常に「明日の地球にできること」を考え、これからも社会に貢献する活動を続けていきます。

クリーンエネルギーの活用が本格化

Apple、再生可能エネルギープロジェクトの新規サプライヤーに認定

Appleは、製造パートナーとして2018年4月10日付で、100%再生可能エネルギー化に向けた取り組みに参加する新規サプライヤー9社を発表し、太陽インキは、その1社に選ばれ、Apple向け製品の生産を100%クリーンエネルギーで行うことを約束しました。



嵐山水上太陽光発電所

当社グループでは、嵐山町の2基の水上太陽光発電所に続き、2018年度には近畿地区に3、4、5基目となる発電所を開所し、合計5ヶ所の水上太陽光発電所が稼働しています。



嵐山大沼水上太陽光発電所

地域の子どもたちにできること

駅前嵐山食堂で「子ども食堂」開始

太陽GEは「地域の方が集まり、コミュニティづくりの場として活用していただきたい」という願いと「一人でも多くの子どもたちに楽しい食事を届けたい」という想いから、2018年にオープンした飲食店「駅前嵐山食堂」で、月2回の「子ども食堂」を始めました。

運営にあたっては賛同する企業・個人や社員から寄付していただいた食材を生かし、家庭のぬくもりあふれるメニューを提供しており、少しずつ認知度と協力の輪が広がっています。



子ども食堂の様子

太陽HDと嵐山町との強力パートナーシップ

地方創生に係る包括連携協定を締結

当社は、嵐山町と「地方創生に係る包括連携に関する協定」を締結しました。地方創生に係る包括連携協定とは、自治体と民間とが、それぞれの特性や資源を活かしあい協力し、より豊かなまちづくりの実現のために包括的なサービス提供を官民共同で推進する仕組みを指します。

当社グループは、これまで以上に地方創生に係る様々な分野で嵐山町と協力して地方創生の実現に向けて連携してまいります。

農地を有効活用

食糧事業として高品質イチゴを生産

太陽GEは、地域の活性化に寄与することを目的に2018年9月からITを用いたイチゴのハウス栽培を始め、12月17日より出荷を開始しました。基準を満たした高品質なイチゴは、「ミガキイチゴ」として首都圏を中心とした百貨店、小売店で販売されています。



高品質イチゴの栽培

新たな価値の創出

昆虫養殖事業

太陽GEでは、昆虫のなかでも生育期間が短く、動物の生育に必要なタンパク質が豊富に含まれるコオロギに着目しました。養殖したコオロギを東北サファリパークの動物に提供し、その結果を検証することにより、栄養価が高く、動物が摂取しやすい付加価値の高い飼料の創出を研究しています。



飼育研究室

未来に羽ばたく子どもたちへ

「子ども大学らんざん」開催

太陽インキでは、8月に「子ども大学らんざん」の授業および修了式を行いました。「子ども大学らんざん」は、嵐山町教育委員会が生涯学習推進事業として実施しており、夏休み企画として当社グループの社員が講師となり、小学4年生から6年生までの15名が、工場見学および製品の品質チェックを行う検査業務など、子どもの知的好奇心を刺激する講義・業務体験を行いました。



検査業務の様子

2018年度CSR活動の実績と今後の目標

「CSR理念」と「行動規範」に基づき、2018年度の主な活動実績と、2019年度の課題・目標についてまとめました。個々の取り組みの詳細につきましては、各掲載ページをご覧ください。

☺:目標達成 ☹:着手したが未達成 ☹:未着手

マネジメント					
取り組み項目	2018年度の課題・目標	2018年度の主な活動実績	評価	2019年度の課題・目標	掲載ページ
内部統制システム	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループ全体の内部統制システムの有効性と効率性の向上 前年度に新たに連結範囲に含まれた子会社の内部統制システム新規構築と定着化 	<ul style="list-style-type: none"> 海外往査などを通じて、内部統制文書の見直しを行い、内部統制システムの有効性と効率性向上の実施 前年度に新たに連結範囲に含まれた子会社、および今年度より評価項目を追加した子会社の内部統制システムを構築、運用定着の実施 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループ全体の内部統制システムの有効性と効率性の向上 今年度新たに評価範囲に加わる子会社の内部統制システムを構築し、運用を開始する 	P8
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループ本社におけるコンプライアンス活動の展開促進 コンプライアンス教育の拡充 法規制管理体制の強化 コンプライアンス活動の社内外への情報発信 ホットラインの有効性向上 潜在的リスクへの対応継続 	<ul style="list-style-type: none"> 「コンプライアンス・マニュアル」で当社グループ各社が実施すべき活動内容を明確化 管理職および新入社員を対象に外部講師を招聘してコンプライアンス教育を実施。また、新入社員、中途入社社員向け基礎教育の実施 法規制改定情報サービスの提供を継続するとともに新たな情報サービスの調査を開始 社内報に関連記事を寄稿、顧客からの調査案件に対応 相談・通報案件について迅速に対応 重要性の高いリスク案件の対応完了 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループ各社の活動推進および定着のためのサポート E&C教育の充実を図る 法規制遵守状況の実態調査を実施し、その結果に基づいた対策の検討 ホットラインの有効性向上 E&C監査およびリスク調査結果の対応を行う 	P8
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な防災訓練を行う 海外におけるBCP体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> 比企地区危険物防火安全協会主催の合同防災訓練を比企広域消防本部とともに嵐山事業所内で実施 各拠点で安全対策を実施 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な防災訓練を行う 情報セキュリティマネジメントシステムの運用範囲拡大と運用定着 	P9

社会性報告					
取り組み項目	2018年度の課題・目標	2018年度の主な活動実績	評価	2019年度の課題・目標	掲載ページ
株主・投資家の皆様	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な安定配当を行う ウェブサイト、CSRレポート、アニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う 情報開示の充実・迅速化 	<ul style="list-style-type: none"> 個人株主様向け会社説明会を実施 機関投資家向け企業分析レポートの発行 海外の株主様向けに株主総会議案の英訳版をウェブサイトに掲載 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な安定配当を行う ウェブサイト、CSRレポート、アニュアルレポートにより適切な情報開示を行う 情報開示の充実・迅速化 	P10
お客様	<ul style="list-style-type: none"> 製品品質を高めるための「製品設計」「工程設計」「改善活動」を継続推進 工程管理基準値の見直し、作業要領の遵守に加え、製品・原料の管理値強化、工程内リスク抽出・対策により異常品の流出防止と発生時の未然防止を継続推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 製品品質を高めるための「製品設計」「工程設計」「改善活動」を推進中 工程管理基準値の見直し、作業要領の遵守に加え、製品・原料の管理値強化、工程内リスク抽出・対策による異常品発生時の未然防止を推進中 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 製品品質を高めるための「製品設計」「工程設計」「改善活動」の継続推進 工程管理基準値の見直し、作業要領の遵守に加え、製品・原料の傾向管理強化、工程内リスク抽出・対策による異常品発生時の未然防止の継続推進 	P15
お取引先	<ul style="list-style-type: none"> CSR調達ガイドラインを作成する 	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループのCSR理念と行動規範をCSR調達の要件として、購入先への周知方法を検討 	☹	<ul style="list-style-type: none"> 監査対象となる購入先に当社グループのCSR理念および行動規範を理解してもらい、その遵守状況を調査し、継続的改善を促す 	P15
地域・社会	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献・地域貢献を幅広く行う 	<ul style="list-style-type: none"> 比企地区危険物防火安全協会主催の合同防災訓練を比企広域消防本部とともに嵐山事業所内で実施 嵐山町立小中学校適正規模等検討委員会に参加し、嵐山町に答申 嵐山町生活支援、介護予防体制整備推進協議会移動支援分科会に参加 駅前嵐山食堂オープン 嵐山町商工会バザーの協賛 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献・地域貢献を積極的に行う 	P11~12
社員	<ul style="list-style-type: none"> 多様な社員が働きやすく、個々の能力や適性が発揮できる環境、職場づくりを継続 	<ul style="list-style-type: none"> 本社増床に伴うオフィス環境の整備を実施 各種福利厚生制度の継続、定着 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き多様な社員が働きやすく、個々の能力や適性が発揮できる環境、職場づくりを継続 	P13~14

環境報告					
取り組み項目	2018年度の課題・目標	2018年度の主な活動実績	評価	2019年度の課題・目標	掲載ページ
環境活動	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量の削減を目標に新しい取り組みを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 工場棟、倉庫棟の遮熱塗装による空調負荷低減 冷温水ポンプの更新および容量の最適化による電力使用量の削減 省エネコンプレッサーへの更新 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 消費エネルギーの削減を行う 	P16~22

コーポレートガバナンス

経営の透明性を確保して説明責任を果たし、健全な会社運営を行うために、「取締役会」と「監査役会」を中心とした体制を構築しています。

コーポレートガバナンス体制

社会から信頼される企業として存続するためには、効率的な業務執行体制を構築するとともに、経営の透明性、健全性を高めることが重要であると考えています。経営環境の変化に迅速に対応できる業務執行とその監督の体制を整え、当社グループ経営全般にわたる、企業価値の向上を図っています。

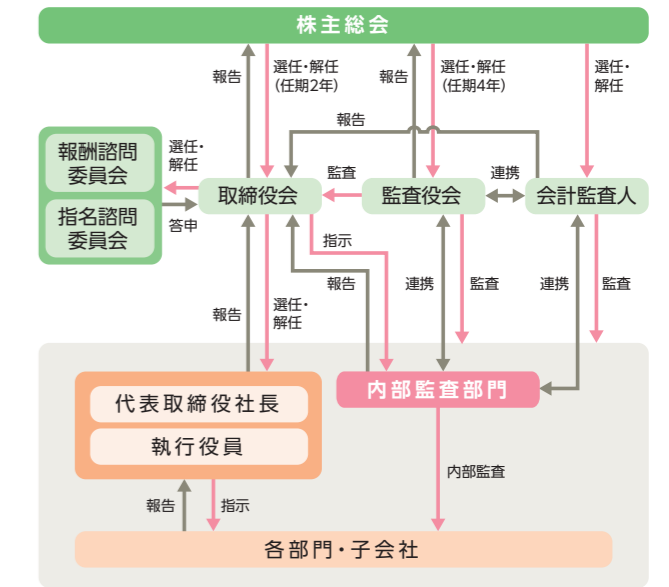
内部統制システム

2018年度は第73期内部統制基本計画書に基づき、重点課題の対応を中心に、内部統制システムの有効性の維持・向上に努めました。

- ①太陽ファルマのすべての評価項目を対象に、内部統制システムを新たに構築・整備し、運用を開始しました。
- ②太陽油墨貿易(深圳)の評価項目に、業務処理統制およびIT全般統制を加え、運用を開始しました。

- ③海外往査などを通じて、内部統制文書の見直しを行い、内部統制システムの有効性の向上を図りました。

●コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンスに関する取り組み

私たちは、法令その他の社会的規範を遵守し、公明かつ公正な活動を行い、社会から信頼される企業を目指します。

コンプライアンス活動

当社グループは、主力製品であるソルダーレジストなどのエレクトロニクス分野に加え、食糧、エネルギー、医療・医薬品といった新たな事業を展開しており、当社グループおよび従業員数が増加傾向にあります。そのため、関連する法令、職場環境の多様化から生じるリスク対策を講じる必要があります。

具体的には、社員一人ひとりに法令遵守の重要性と倫理を意識させるための教育の充実、さらに不正行為や問題を発見した社員が、躊躇せず、安心して連絡できる内部相談・通報体制の確立、そして社内の各部署が自ら遵守すべき法令を把握する体制を構築することが重要な施策として挙げられます。

これらの施策を確実に実施することにより、当社グループは、今まで以上に社会から信頼される企業を目指してまいります。

コンプライアンス教育

企業の倫理・法令は、社員の遵守精神と知識によって守られます。当社では社員に向けて必要な知識、重要性を伝え、維持し続けるために、コンプライアンス教育に力を入れています。

2018年度は、継続開催しているハラスメント教育に加えて、企業コンプライアンスにおけるリスクを認識する社内セミナーを開催しました。当該セミナーは、外部講師を招き、管理職と新入社員を対象に実施し、社内における職制や立場に応じて、対応すべきリスク要因が異なることを理解し、それぞれの立場に応じた適切な対応を取ることで、リスクの低減を図ることができていることを学びました。

2019年度は、さらに対象を一般社員に広げ、全社員がコンプライアンスにおけるリスクに強い関心を持ち、正しい対処が行えるよう、啓蒙活動を続けます。



コンプライアンス教育社内セミナー

リスクマネジメントに関する取り組み

事業活動に伴い発生する様々なリスクに対して、適切な対応措置の検討、整備を行ってまいります。

コンプライアンス

当社グループは、新規事業の展開に伴い、グループ全体におけるコンプライアンスとリスクマネジメントを重視した活動を展開しています。

①当社グループのコンプライアンス活動

当社グループにおけるコンプライアンス活動の状況を集計し、フィードバックすることにより各社の活動内容を共有する体制を取っています。

2018年度は、当社グループにおける内部相談・通報体制の構築と対応状況の報告やコンプライアンス教育の実施など、重要性の高い活動について義務化しました。なお、一部においては、体制整備が遅れている部分が認められましたので、2019年度も引き続き対応を進めていきます。

②当社のコンプライアンス活動

当社は、内部相談・通報制度を通じたリスク抽出と、早急かつ適切な対応を心掛けています。そして、内部相談・通報制度における匿名性や守秘性を高めることで、従業員が安心かつ信頼して利用できる体制づくりを目指しています。

また、新規事業への展開に伴い、新たな関連法令の把握を重要な課題として認識しています。現在は外部機関を利用し、法令の制定・改定情報を入手していますが、2019年度は、把握すべき法令や改定情報への対応に不足や遅れなどが無いが、社内調査を行う予定です。

2017年度に実施した全社員を対象としたリスク調査結果の対応状況としては、重要と認識された潜在的リスク要素については是正を完了しました。なお、比較的軽微なリスク要素の対応も継続して進めており、2019年度内には是正を完了する見込みです。

危険物防火安全週間合同防災訓練

嵐山事業所では比企地区危険物防火安全協会主催による比企広域消防本部と合同防災訓練を実施しました。

100名ほどの比企地区危険物防火安全協会会員の皆様が見学され、緊急事態さながらの緊張感のもと、各建物



放水訓練の様子

からの避難訓練、屋内消火栓・消火器による消火訓練、消防本部の最新のはしご車による救護訓練など、事業所の全社員が参加しました。



はしご車による救護訓練の様子

今後も防災関係機関との連携による防災活動の充実を図ってまいります。

太陽インキ本社で防災訓練

太陽インキ本社では、3月15日に工場ラボ室からの火災想定による防災訓練を実施しました。火災発見から初期消火、そして避難放送とともに総勢約300名が避難場所に移動し、部署ごとに点呼確認を完了、自衛消防隊長に報告、避難完了という一連のプロセスを実行しました。

当日は、比企広域消防本部小川消防署嵐山分署職員の皆様にご協力いただき、煙体験、消火訓練、そしてAED(自動体外式除細動器)の使用を想定した救命訓練を実施し、「有事の際の行動」を再認識する一日となりました。

その他、有事の際の「安否確認システム」運用においても、日々の応答訓練を実施しています。



点呼報告の様子 消火訓練の様子 煙体験の様子

太陽インキ本社 リスクアセスメント活動の推進

太陽インキ本社では、安全衛生委員会が中心となり、2018年度より機械・設備を対象としたリスクアセスメント活動を本格的に開始しました。

事故や災害などを未然に防止するため、職場に潜在しているリスクを事前に洗い出し、社内で定めたリスクの評価基準と照らし合わせてリスクの度合を数値化。これにより対策の優先順位を明確化することで、合理的なリスク対策を実施しています。また、リスクアセスメント活動の他に、KYT^{*}活動や定期的な職場巡視などを実施しており、2018年度は太陽インキ本社と嵐山事業所において年間を通じて「労働災害ゼロ」を達成することができました。

これからも従業員一丸となって継続的な改善活動に取り組み、安全で安心して働ける職場環境づくりを推進していきます。

用語解説 ※KYT: 危険予知トレーニング

株主の皆様との関わり

利益の配分ならびに適切なコミュニケーションを通じて、株主の皆様の「幸福と繁栄」に寄与します。

利益の配分について

太陽HDでは、株主の皆様への現金による利益還元を重要政策と位置付けており、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施しています。具体的には株主資本配当率を目標指標とし、「連結決算を基準に株主資本配当率を中長期的に5%以上とすること」を目処としています。

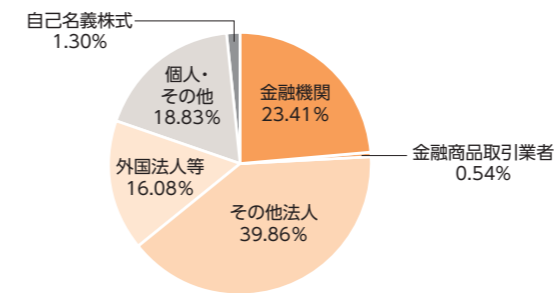
なお、2018年度は年間配当額を合計130円20銭とさせていただきます。

●株式の状況

発行済株式数	株主数
28,910,436株	6,425人

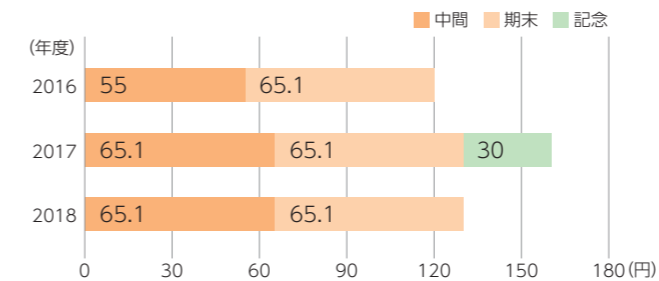
(2019年3月31日現在)

●株式分布状況

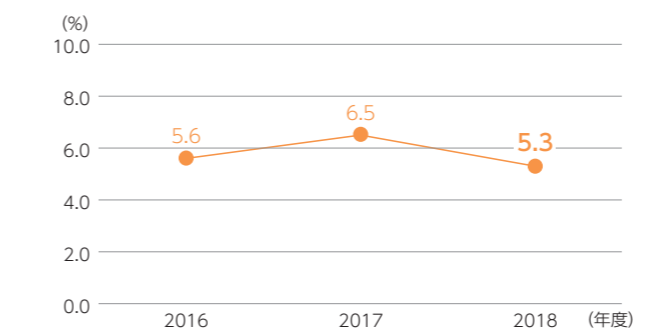


(2019年3月31日現在)

●1株あたりの配当の推移



●株主資本配当率の推移(連結)



IR活動

投資判断に有効な情報を株主・投資家の皆様にお届けするため、正確性・公平性・迅速性を確保したIR活動の実施を基本方針としています。

具体的な活動として、ウェブサイトでのIR情報の提供、アニュアルレポートの発行、アナリスト・機関投資家向けの決算説明会開催、機関投資家との個別ミーティング、個人株主様向け会社説明会などを実施しています。また、2017年3月期第3四半期より決算短信を早朝開示に変更し、情報開示の迅速化に努めています。

開かれた株主総会

2018年6月23日、第72回定時株主総会を開催しました。当社の定時株主総会は、多くの株主の皆様にご出席いただきたいという思いから、株主総会が集中する期間の約1週間前に開催しています。また、招集ご通知の早期発送や、インターネット・携帯電話による議決権行使の採用など、より多くの株主の皆様にご参加いただけるような環境の整備を実施しました。

なお、株主総会の模様は、ウェブサイトのオンデマンド配信により、当日ご出席いただけなかった株主の皆様をはじめ、報道関係の方など、どなたでもご覧いただくことができます。

ウェブサイトのご紹介

当社は株主・投資家の皆様に対し、企業情報や財務情報などの情報開示を積極的に行っています。事業内容や製品情報、その他最新のニュースリリースも掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。

また、メールマガジンの配信サービスもごございますので、当社が発表した最新情報について連絡をご希望の皆様はぜひご登録をお願いいたします。



taiyo-hd.co.jp

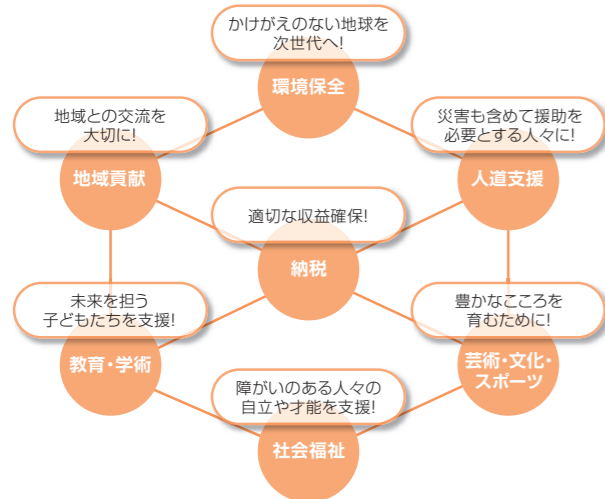
地域・社会との関わり

地域・社会との調和を目指し、企業市民として様々な社会貢献活動に、積極的に取り組んでいます。

社会貢献に対する基本的な考え方

社会の一員として、社会の発展に寄与すること。これも企業が果たすべき大切な責任のひとつです。限りある資源を次の世代に残し、関わる人の心を豊かにし、共に成長する企業であり続けるため、当社グループ各社が連携し幅広い活動に取り組んでいます。

●当社グループが目指す社会貢献



2018年度 地域・社会貢献活動概要

活動項目	実施時期	内容
嵐山町成人式	1月	記念品の提供
日赤献血活動	6、10月	輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うための活動
子ども大学らんざん	8月	小学生の体験学習・工場見学の受け入れ
障がい者支援団体協賛	9月	障がい者が運営する団体の活動への協賛
嵐山町民体育祭	10月	賞品の協賛
バザー協賛	10月	町内小中学校のバザーに協賛品を提供
「七つの祝」式典	11月	記念品の提供
日本赤十字(募金)	11月	人間の命と健康、尊厳を守るための活動に協力
赤い羽根共同募金	11月	地域福祉の推進を支援
日本ユニセフ協会(募金)	11月	子どもたちの権利が守られる世界を実現するための活動に協力
嵐山まつり	11月	模擬店の出店や祭りの運営に協力
工場見学	11月	小学生の社会科見学受け入れ
保育所	通年	地域の子どもの受け入れ
学校教材への協力	通年	社会科副読本「らんざん」への掲載協力
イベント協賛	通年	スポーツイベントなどへの協賛金の拠出
義捐金・救済金寄付	通年	海外を含めた激甚被災地への復旧支援
嵐山町町内小中学校PTA資源回収協力	通年	教材費用などへの活用を目的として廃段ボールを提供
エコキャッププロジェクト	通年	ペットボトルのキャップを集め、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に協力
使用済み切手収集	通年	使用済み切手を集め、施設や団体に寄付
アマチュアスポーツ選手支援	通年	資金が潤沢ではないスポーツ選手を支援
貸出し図書コーナーの設置	通年	嵐山町立図書館書籍の企業貸出を利用して、社内で貸出を実施
彩の国ロードサポート	通年	近隣ごみ拾い活動
京都サンガF.C.キッズスマイルプロジェクト協賛	通年	子どもたちに、サッカーを通じて夢を持つ素晴らしさや、感動、スポーツの楽しさを体験してもらい、笑顔にしていこう活動に協賛

社会貢献活動

■献血サポーター

太陽インキ本社は、厚生労働省の献血推進対策に賛同し、献血サポーターとして社員へ献血活動への理解と協力を呼びかけています。また、当社グループの他拠点に勤務する社員も毎年巡回献血に協力しています。

2017年にはその功績が認められ、運動に積極的に協力した個人や団体を表彰する「彩の国さいたま愛の血液助け合いの集い」にて埼玉県知事から感謝状をいただきました。



巡回献血の様子



■イベントへの協賛

当社グループでは、日頃からお世話になっている地元の皆様への感謝の気持ちと、地域社会活性化の一助になればとの思いから、各種イベントへの寄付や協賛などで運営の協力をしています。

2018年度は、太陽インキ本社の近郊地域で行われた「日本スリーデーマーチ」「小川和紙マラソン大会」などのスポーツイベントに協賛しました。文化イベントでは、地元地区のお祭りをはじめ、「嵐山まつり」への出店、「嵐山さくらまつり」「東松山花火大会」「小川町七夕まつり」などに協賛しています。各種イベントには多数の社員が積極的に参加し、社員にとっても部署を超えた交流の場になっています。



「嵐山さくらまつり」で花火打上げを協賛



小川和紙マラソン

地域貢献活動

■地域活性化への貢献

太陽インキ本社および嵐山事業所のある埼玉県嵐山町は、木曾義仲や畠山重忠など、日本史に名を残した坂東武者ゆかりの地です。その歴史と伝統を継承する文化まつり「嵐山まつり」に、毎年模擬店を出店しています。

2018年度は子ども向け玩具・遊具の販売のほか、太陽GEで作っているベビーリーフの販売、化学実験教室の開催など、様々な活動を通じて地域の皆様との交流を図ることができました。なお、当日の売上金は社会福祉協議会へ全額寄付し、社会福祉の向上に役立てていただきました。



嵐山まつり模擬店

■社会科見学の受け入れ

太陽インキ本社では地元の小学校の社会科見学として、工場見学や化学実験教室を行っています。嵐山町教育委員会が発行している小学校3・4年生向け社会科副読本には、太陽インキが掲載されています。



説明に耳を傾ける地元の小学生

今後も地域に根差した次世代の人材育成に貢献していくため、子どもたちに教育・経験の機会を継続して提供していきます。

■化学実験教室

「嵐山まつり」や「社会科見学」では、地域の子どもたちが化学に興味をもつきっかけになる場を提供したいという願いから、新入社員による化学実験教室を行っています。嵐山まつりでは「おゆるくん(スーパーボールづくり)」、「手びねりプラスチック(プラスチック粘土)」を企画し、約200人の子どもたちが参加しました。完成したスーパーボールをうれしそうに披露する子どもたちの笑顔がとても印象的でした。

社会科見学では「感光性樹脂を用いたスタンプづくり」を実施しました。子どもたちはスタンプのでき栄えに歓声を上げていました。これからも子どもたちの喜ぶ顔に出会える実験教室を提案していきたいと思っています。



スーパーボールづくり



スタンプづくり

環境保全活動

2018年度は以下の環境保全活動を実施しました。

年月	活動場所	活動内容
2018年 4月	太陽インキ本社に隣接する大沼池畔	ミドリシジミが産卵するハンノキ林の環境整備
2018年 5月	嵐山町内小千代山	樹木調査、雑木林の間伐
2018年 6月	嵐山町内都幾川、太陽インキ本社に隣接する大沼池畔 嵐山町オオムラサキの森蝶の里公園	田植え体験、荒川流域ネットワーク水質検査、ミドリシジミ・蛍の観察会
2018年 7月	富士山、嵐山町オオムラサキの森蝶の里公園	サマースクール(富士山五合目において自然観察会)、オオムラサキの観察会
2018年 9月	嵐山町内小千代山	栗拾い、雑木林の間伐
2018年10月	嵐山町内千年の社	ラベンダーの苗移植、稲刈り体験
2018年11月	嵐山町内小千代山	雑木林の環境整備、植樹の準備
2018年12月	嵐山町内	オオムラサキ越冬調査、クヌギ・椎の木植樹
2019年 2月	太陽インキ本社に隣接する大沼池畔	ミドリシジミが産卵するハンノキ林の環境整備
2019年 3月	嵐山町内小千代山	椎茸の植菌



オオムラサキ

社員との関わり

社員一人ひとりが、個々の強みを活かし、自分の能力や適性を最大限に発揮できる職場づくりを進めています。

雇用における基本的な考え方

当社グループでは、グループ全体の人員状況と成長計画を踏まえ、適正人員の維持を図っています。

また、国籍や人種、性別、年齢などに関係なく活躍できる職場を提供するとともにワーク・ライフ・バランスを推進するために、仕事と家庭生活の両立を支援しています。

●社員概況(2019年3月31日現在)

	単位	男性	女性	合計
正社員総数 ^{※1}	人	299人	89人	388人
正社員以外の雇用数 ^{※2}	人	31人	23人	54人
社員平均年齢 ^{※3}	歳	44.39歳	36.00歳	42.54歳
社員平均勤続年数 ^{※3}	年	15.70年	9.33年	14.30年
障がい者雇用人数	人	3人	2人	5人
障がい者実雇用率 ^{※4}	%	—	—	2.06%
再雇用人数	人	13人	0人	13人

集計対象：太陽HD、国内子会社出向者および海外子会社出向者

- ※1 再雇用社員、契約社員、パートを除く人数
- ※2 契約社員とパート社員
- ※3 再雇用社員、パートを除く
- ※4 障がい者雇用率制度による

「次世代の育成」に寄与する支援制度

太陽HD、太陽インキ、太陽GE、太陽ファルマは、育児休業・短時間勤務の制度化をはじめ、各種制度を取り入れ、仕事と家庭生活の両立を支援しています。

育児短時間勤務制度は法令で定められている期間を超え、3歳～小学校3年生の小さな子どもがいる社員に対して、希望により1日の勤務時間を6時間30分まで短縮できるように定めています。

今後もワーク・ライフ・バランスを推進し、社員が働きやすい環境づくりを進めていきます。

●主な支援制度

制度名	利用者数			
	2016年度	2017年度	2018年度	
育児支援	育児休業制度 (満1歳に達した翌年度末まで)	5	6	2
	育児短時間勤務制度 (小学校3年生修了まで)	5	14	11
介護支援	介護休暇・介護短時間勤務制度 (延べ日数93日)	1	1	0
看護支援	看護休暇制度	54	52	60
永年勤続	リフレッシュ休暇制度 (勤続5年ごとにリフレッシュ休暇と資金の支給)	53	59	57

集計対象：太陽HD、国内子会社出向者および海外子会社出向者

資格取得支援制度

社員の自己啓発を促すことを目的に、「資格取得支援制度」を導入しています。

当制度は外国籍社員の増加に伴い、日本語能力試験も支援対象としています。この制度の利用によって、多くの社員がスキルアップできるよう、今後も支援を続けていきます。

●難易度別資格取得者数

難易度	S	A	B	C	D	合計
2016年度	0	7	9	6	2	24
2017年度	0	2	4	6	1	13
2018年度	0	3	11	18	0	32

集計対象：太陽HD、国内子会社出向者および海外子会社出向者

※難易度：Sは司法書士・公認会計士など、Aは税理士・中国語検定1級など、Bは日商簿記検定試験2級・TOEIC TEST 700点以上など、Cは産業カウンセラー・基本情報技術者など、Dは環境管理士3級・実用英語技能検定3級など、基準を当社で設定しています

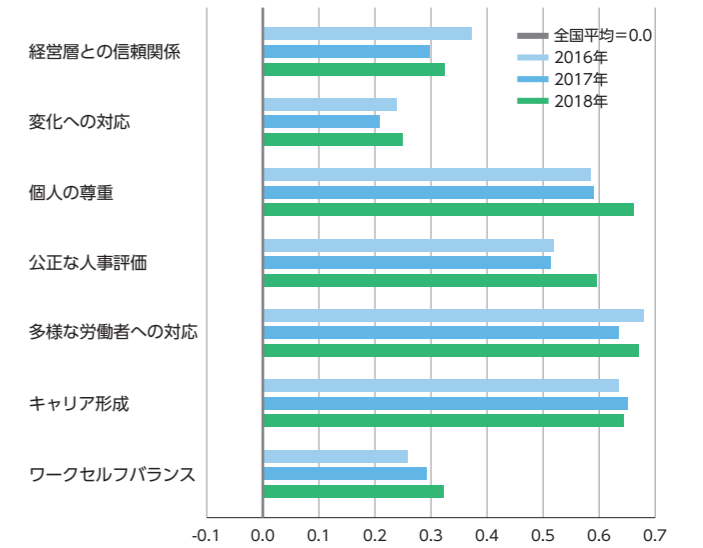
ストレスチェック

当社ではストレスチェックを毎年実施しています。すべての項目において全国平均(0.0)を上回っています。

かねてより、社員がより働きやすい環境をつくるため、オフィスや研究施設の整備はもちろん、休日の充実や家族も対象となるような、社内だけにとどまらない様々な福利厚生を制度を整えてきました。

根底には、会社が成長するために最も大切なのは自ら考え、行動できる「自律型人材」を育成すること、その「自律型人材」が育つには、「仕事のやりがい」、「公正な評価・給与」、「職場環境」の3つを整えることが不可欠という考えがあります。

●2016年・2017年・2018年 ストレスチェック結果



実施期間：2016年10月12日～10月21日、2017年10月3日～10月13日、2018年10月1日～10月12日
対象：太陽HD全従業員(社員、契約社員、再雇用社員含む)
実施機関：アイエムエフ株式会社 ※全国平均をゼロとした時の数値(SDスコア)です

本社増床

2019年1月に本社を増床しました。

気軽にコミュニケーションが取れるよう、フリースペースを設け、カウンタータイプのテーブルとイス、ちゃぶ台を設置しました。ちゃぶ台を置いたスペースには床暖房を

完備し、鏡張りでラジオ体操やヨガなど多目的での活用を予定しています。

今後も社員が楽しく働ける環境づくりに取り組んでいきます。

【各エリアの様子】



エントランス



オフィスエリア



会議室



フリースペース1



フリースペース2



ラジオ体操

お客様との関わり

太陽インキではISO 9001:2015に基づいた品質マネジメントシステムを適用して、品質保証、品質管理、品質改善の活動を行い、お客様にご満足いただける品質と安全性を確保し提供しています。

マネジメントシステムの改善

ISO 9001の規格要求事項の改訂に伴い、2017年下期よりISO 9001:2015年版の規格要求に応じた品質マネジメントシステムの構築を行い運用してきました。ISO 9001:2015年版では、リスクと機会への取り組み強化が要求されており、これらを特定しプラス面の増大も含め継続的改善を行い、2018年度は、審査登録機関の審査を受け、ISO 9001:2015年版の認証を受けることができました。今後は、規格要求事項への適合だけでなくマネジメントシステムの有効性向上に努め、さらなる継続的改善を図ってまいります。

■製品品質に関わる予防(改善)活動

- ①傾向管理* (トレンド管理)による不適合の未然防止
規格の適合性検査だけでなく、原料の受入検査、製品検査に傾向管理(トレンド管理)を浸透させることで、品質の安定した製品をお客様に提供できるように努めています。
- ②工程内リスクに対応した対策による不適合の未然防止
原料受入から製品出荷までの工程内リスクを抽出し、リスクに応じた対策を取ることで、不適合が発生する前に未然に防止し、安定した品質の製品を提供しています。

※傾向管理:規格の合否判定だけでなく、実測値がどのように推移しているか確認し、不合格になる前に対策を講じ、安定した品質を維持する活動

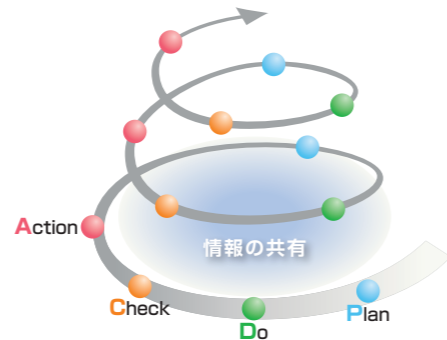
用語解説

お客様からの声の活用

中期重点品質目標は「品質システムを体系的に見直し、顧客満足を高めて、信頼と持続可能な競争優位性を確保する」です。ISO 9001:2015年版の要求事項でもある、お客様に代表される利害関係者のニーズと期待を明確にし、毎年実施している「顧客満足度調査」の結果を評価して、お客様の満足度をより高めるための取り組みが大事であるととらえています。

そのため、お客様よりお寄せいただいた声は取りこぼすことなく対策を講じることで、より質の高い製品とサービスの提供に日々努めています。

●お客様との情報共有に基づく品質改善



お取引先との関わり

グリーン調達基準に基づき、環境と安全性・品質安定性に配慮した原材料の調達を行っています。

購入先評価と立ち入り監査の実施

お取引先との信頼関係の構築・強化のためにお取引先のご協力のもと、立ち入り監査を実施しています。

監査は主に購買課、品質保証部にて構成されたメンバーで行い、場合によっては製造技術・設計部門も加わり、原料および副資材の品質向上を目的に実施しています。

2018年度は、お取引先5社の監査と3社の工場見学・立ち会い試験を実施しました。

新規取引先	1社	
既存取引先	品質不具合のフォローアップ	1社
	生産ラインの変更	3社
生産工程の見学・試験	3社	

お取引先の監査および外注先での立ち会い試験を通じて、当社製品の用途や原材料に要求される品質をご理解いただき、生産に活用していただいています。また、訪

問先にてお取引先の環境管理物質への取り組みおよび環境負荷物質の管理について確認させていただき、変更などが生じた場合に都度、対象の物質が含まれていないかご報告いただくことをご理解いただきました。

下請法の遵守

公正取引委員会からの「下請事業者との取引に関する調査」について、積極的に協力しました。

下請法対象の12社に対して取引を行う際に、以下の事項を十分考慮して対応しています。

- ① 下請代金支払遅延等防止法の遵守
- ② 金融繁忙期の資金繰りへの配慮
- ③ 下請事業者の利益の確保
- ④ 原材料価格等の上昇への配慮
- ⑤ 消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保

環境方針と環境マネジメントシステム

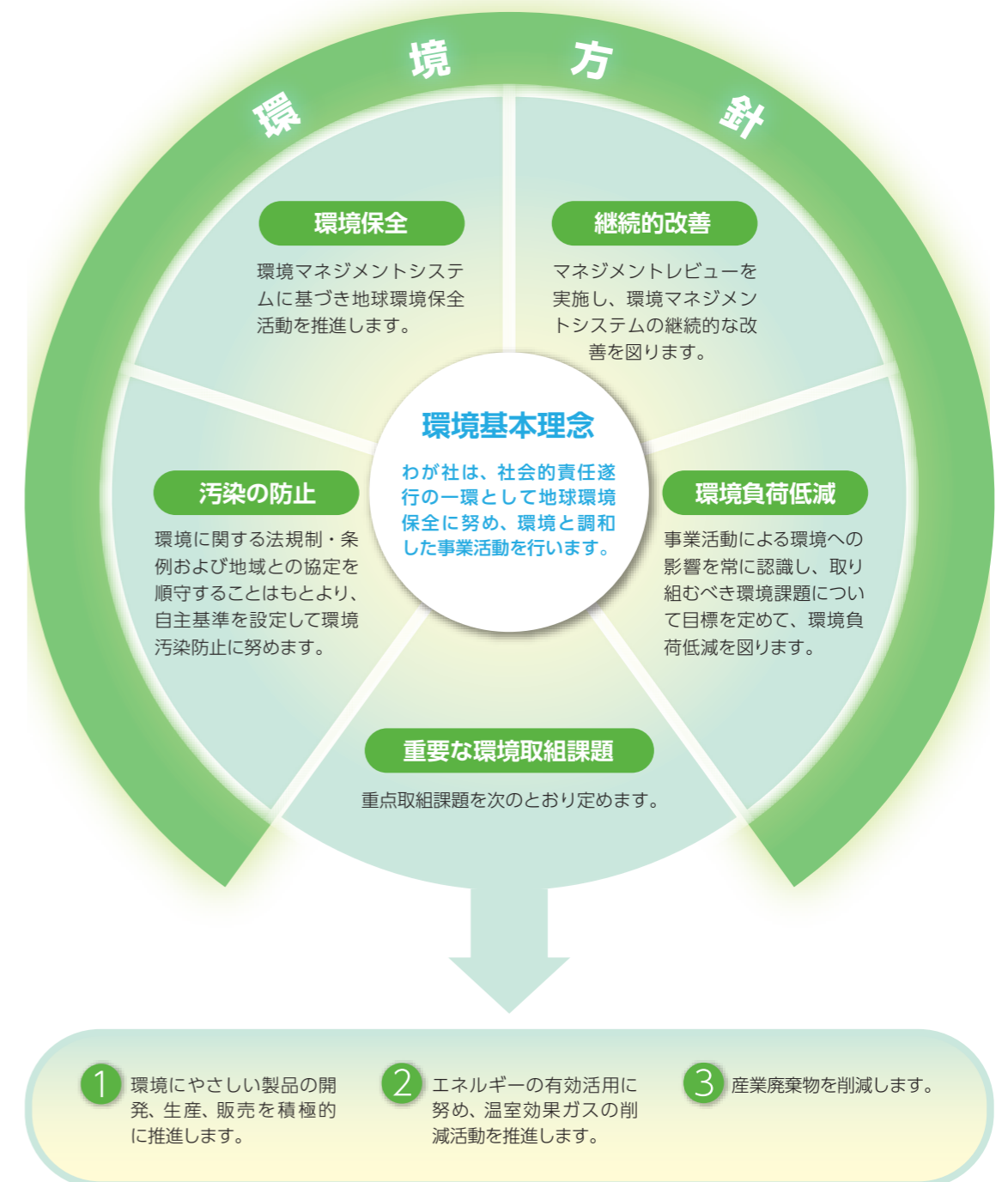
環境基本理念に基づき、環境方針を定めて内外に公表するとともに、当社グループのすべての経営資源を結集し、人・環境・社会が共生する「ものづくり」を推進しています。

環境活動における基本的な考え方

当社グループは、CSR行動規範に「環境の保全」として環境基本理念を定め、「私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。」と明言しています。環境マネジメントシステムを通して人々の安全と健康、かけがえのない地球環境を守る

ことが経営上の重要な課題のひとつであると認識しており、環境経営の実現に向けて、この認識を役員および全社員と共有し、活動しています。

以下は、日本の生産拠点である太陽インキの環境基本理念と環境方針です。



環境負荷低減の取り組み

地球環境や人々の健康に与える影響を考慮し、高機能かつ環境負荷の低減を両立した「ものづくり」に取り組んでいます。

新たに3基の水上太陽光発電所を開所

「エネルギーの消費者から生産者へ」という新たな取り組みのもと、太陽GEによる水上太陽光発電事業が、開始4年目を迎え、2018年度に新たに近畿地区で3基の発電施設を開所しました。



穴沢池水上太陽光発電所

穴沢池水上太陽光発電所の概要

所在地：兵庫県加古郡稲美町野寺
開所日：2019年1月31日
発電規模：約960kW
想定発電量：約1,203,000 kWh/年

環境に対する効果

発電量：約400世帯分
想定CO₂削減量：約378トン/年



魚住池草谷池水上太陽光発電所

魚住池草谷池水上太陽光発電所の概要

所在地：兵庫県加古郡稲美町草谷
開所日：2019年1月31日
発電規模：約1,570kW
想定発電量：約2,141,000 kWh/年

環境に対する効果

発電量：約710世帯分
想定CO₂削減量：約673トン/年



小林池水上太陽光発電所

小林池水上太陽光発電所の概要

所在地：奈良県大和郡山市小林町
開所日：2019年2月4日
発電規模：約544kW
想定発電量：約607,000 kWh/年

環境に対する効果

発電量：約200世帯分
想定CO₂削減量：約191トン/年

水上太陽光発電所の発電効率

一般に太陽光パネルは温度が上昇すると発電量が減少する性質がありますが、屋根や地上に比べ水上設置の場合は太陽光パネルの温度上昇を抑えることができるため、発電効率の点で有利といえます。さらに、水面への日射をさえぎることによるアオコ発生の抑制も期待でき、大規模な造成を行うことなく施工できるため、より環境に配慮した発電所といえます。

上記の3基に加え、当社グループが保有している発電所全5基で、年間合計約1,768トンのCO₂削減が見込まれます。当社グループは引き続き、地球温暖化やエネルギーの確保、環境汚染への対処などが期待される「再生可能エネルギー」の普及促進に努め、当社グループの生産活動に再生可能エネルギーを積極的に導入することを目指すとともに企業の社会的責任を果たしてまいります。

工場棟、物流棟の遮熱塗装

太陽インキ本社では外壁塗装の老朽化に伴い、遮熱塗装を行いました。遮熱塗装により前年同月比約3%の空調消費電力が削減できました。



遮熱塗装

冷温水ポンプの更新と最適化

太陽インキ本社では熱源から送る冷温水のポンプの更新と容量の最適化を行い、前年同月比約8%の消費電力が削減できました。



冷温水ポンプ



冷温水ポンプ制御盤

コンプレッサの更新

太陽インキ本社では工場エアに使用されるコンプレッサの更新を行いました。老朽化した最後の1台を更新したことで機械比約10%の消費電力が削減できました。



コンプレッサ

電気使用合理化の表彰

太陽インキ本社ではエネルギーの使用量削減に取り組んでおり、その中で電気の使用において多くの施策を行い、大幅に削減することができました。その取り組みが認められ、関東地区電気使用合理化委員会から表彰を受けました。



関東地区電気使用合理化委員会 最優秀賞

リサイクルカーペットの使用

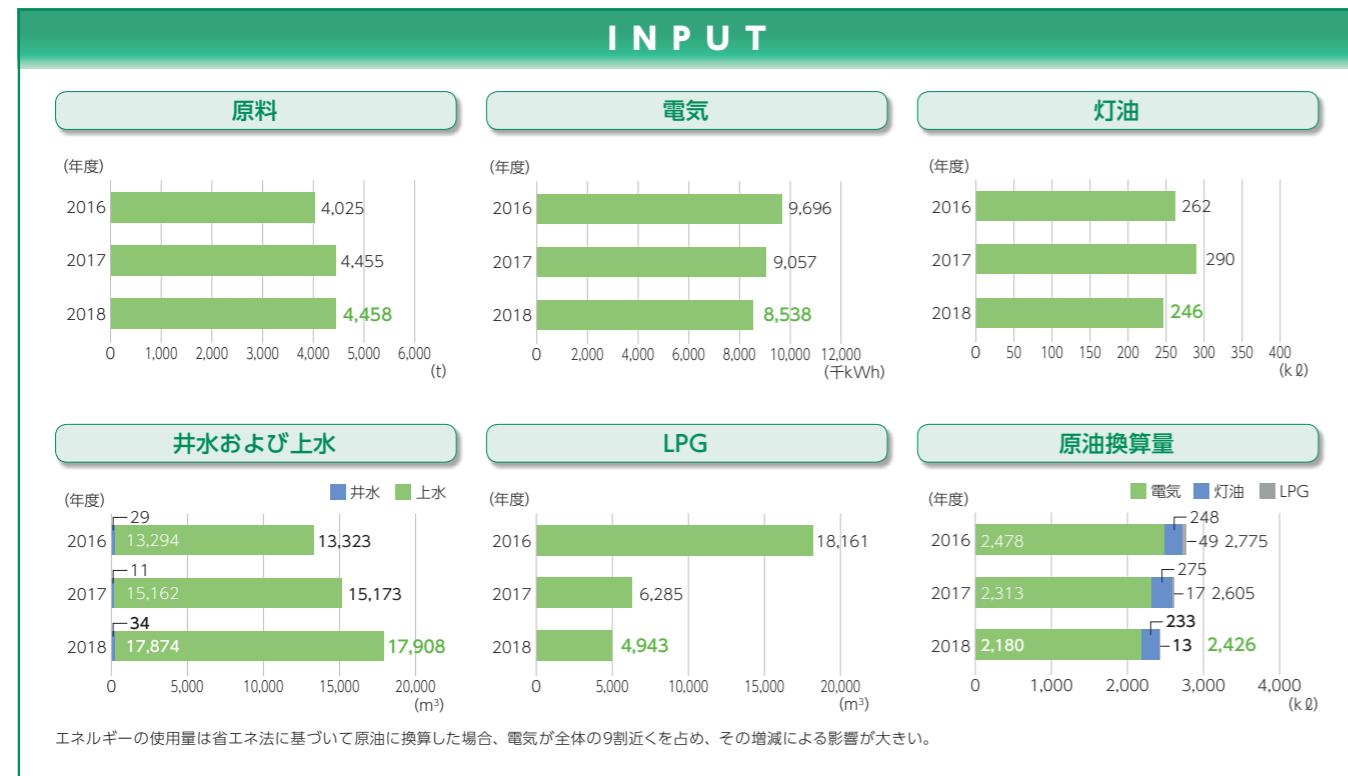
当社本社のカーペットは、2018年EUより持続可能な開発のためのマネジメント賞を受賞したものを使用しています。カーペットの糸は、魚網や、その他の産業廃棄物をリサイクルしたものから使用しており、カーペットの芯はリサイクルプラスチック製です。製造面では、廃水や製造で発生する熱エネルギーが再利用されています。リサイクルカーペットを使用することで、汚染を減らし、リサイクル、経済の循環の推進へと貢献しています。



床一面にリサイクルカーペットを使用

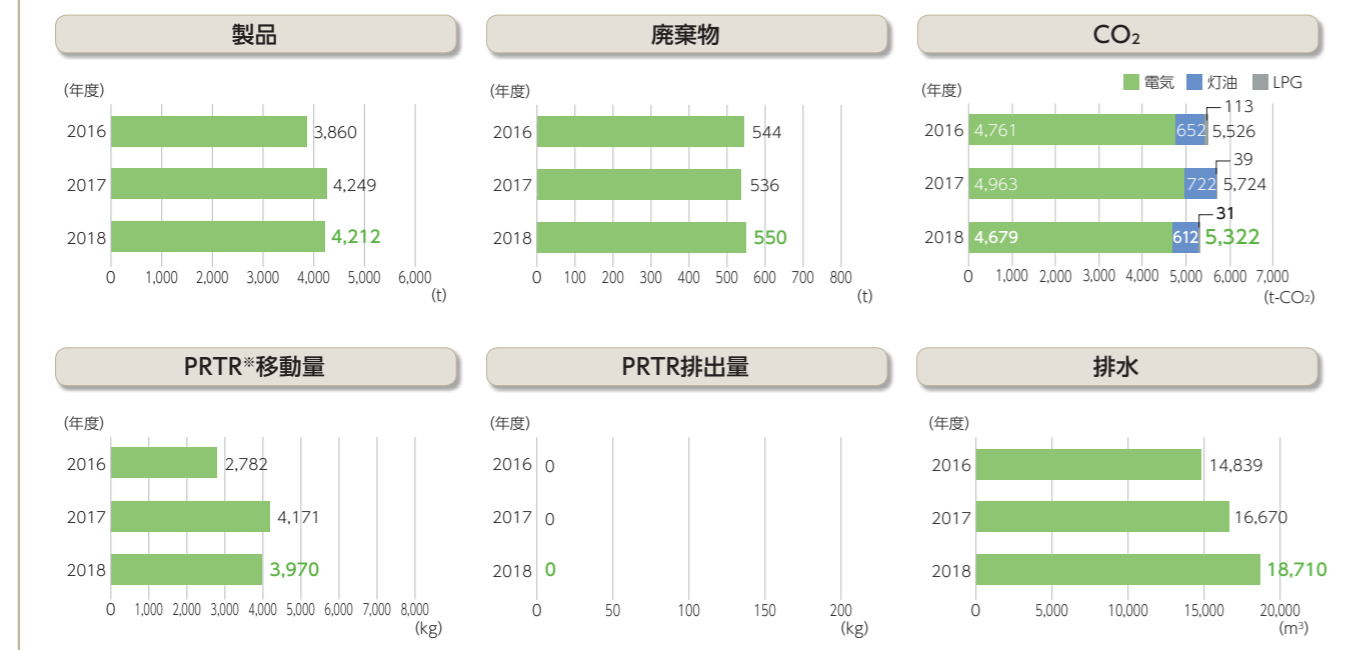
事業活動と環境との関わり

事業活動において、どれだけの資源やエネルギーを使用(INPUT)しているか、どのくらいのCO₂や廃棄物などを発生(OUTPUT)させているかデータを把握し、分析しています。



※北九州事業所は未測定

OUTPUT



※北九州事業所は未測定

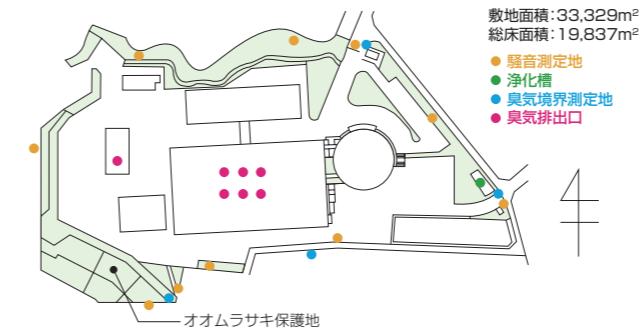
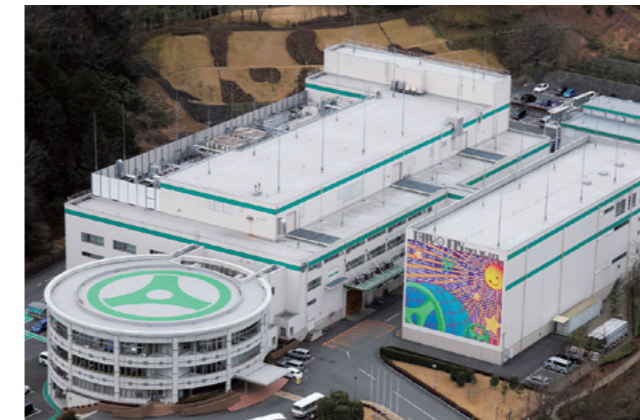
用語解説

※PRTR: Pollutant Release and Transfer Registerの略
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

法規制測定データ集

法規制に基づく測定を定期的に行い、周辺環境への負荷を監視することで、事業活動に伴う環境負荷の低減を図ります。

太陽インキ本社 埼玉県比企郡嵐山町大字平澤900番地



● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例*1)

臭気指数	測定箇所	規制値	2016年度	2017年度	2018年度
排出口	敷地境界線	15以下	10未満	10未満	10未満
	E-1011	35以下	31	21	30
	F-1001	39以下	24	19	29
	第二工場	31以下	12未満	31	15
	E-1021	42以下	29	36	36

● 騒音(騒音規制法*2/埼玉県条例)

	測定箇所	規制値	2016年度	2017年度	2018年度
朝	東側	50以下	42	39	46
	南側		43	42	46
	西側		43	44	43
	北側		41	42	44
昼間	東側	55以下	41	48	46
	南側		46	47	44
	西側		43	44	43
	北側		43	45	44
夕	東側	50以下	45	40	42
	南側		49	47	44
	西側		41	42	44
	北側		42	43	43
夜間	東側	45以下	43	38	40
	南側		44	41	42
	西側		40	39	43
	北側		40	42	43

● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

	項目	単位	規制値	2016年度	2017年度	2018年度	
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	12.5	13.1	14.5	
	生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	7.1	4.7	10.3	
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	5未満	7.1	6.3	
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	6.8	6.7	7.1	
	大腸菌群数	個/cm ³	3,000以下	30未満	58.7未満	59.3	
	銅	mg/L	3以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
	亜鉛	mg/L	2以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
	溶解性鉄	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満	
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満	
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
	全窒素	mg/L	120以下	36.0	30	26	
	全リン	mg/L	16以下	3.7	3.2	2.7	
	有害物質	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.5未満
		シアン化合物	mg/L	1以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
鉛およびその化合物		mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
六価クロム化合物		mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
四塩化炭素		mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
	ふっ素およびその化合物	mg/L	8以下	0.8未満	0.8未満	0.8未満	

用語解説

※1 埼玉県条例: 埼玉県生活環境保全条例
※2 騒音規制法: 騒音規制に関する法律



● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例)

	測定箇所	規制値	2016年度	2017年度	2018年度
臭気指数	技術棟排出口	40以下	-	12未満	12未満
	技術棟排出口	40以下	-	14	12未満
	敷地境界線No.1	18以下	-	10未満	10未満
	敷地境界線No.2	18以下	-	10未満	10未満

※「社外臭気」の測定箇所は2016年度、改修工事中。

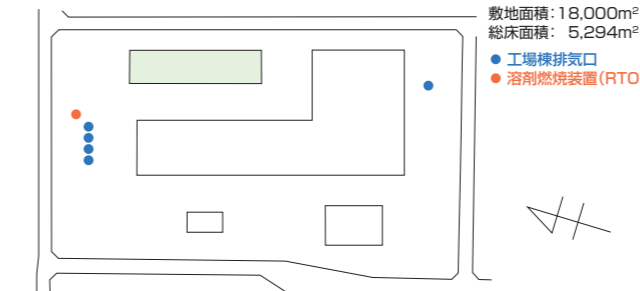
● 騒音(騒音規制法/埼玉県条例)

		(dB)			
	測定箇所	規制値	2016年度	2017年度	2018年度
朝	東側	50以下	45	44	45
	北側		43	42	42
	西側		45	42	41
昼間	東側	55以下	45	46	45
	北側		42	44	46
	西側		45	45	47
夕	東側	50以下	44	45	45
	北側		41	41	42
	西側		44	43	43
夜間	東側	45以下	44	44	44
	北側		40	39	39
	西側		44	40	42

● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

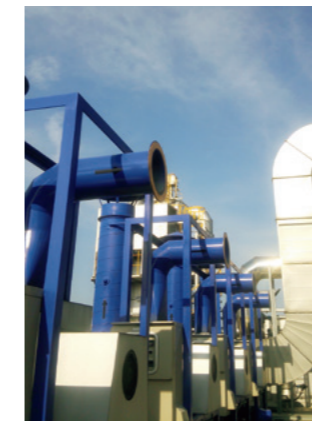
	項目	単位	規制値	2016年度	2017年度	2018年度	
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	17	17	17	
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	14.3	9.1	15.1	
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	12.7	7.8	5.6	
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.6	7.6	7.6	
	大腸菌群数	個/cm ³	3,000以下	831.3	6841.8	530	
	銅	mg/L	3以下	0.03未満	0.03未満	0.03未満	
	亜鉛	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
	溶解性鉄	mg/L	10以下	0.4	0.1未満	0.2	
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
	全窒素	mg/L	120以下	17	19	21	
	全リン	mg/L	16以下	1.4	2.5	2.7	
	有害物質	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.5未満
		シアン化合物	mg/L	1以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満
鉛およびその化合物		mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
六価クロム化合物		mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
四塩化炭素		mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
ふっ素およびその化合物		mg/L	8以下	0.2未満	0.2未満	0.2未満	
ほう素およびその化合物	mg/L	10以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満		

※「合併浄化槽」における実測値は、同一年度内に実施した全測定の平均値。ただし、「未満」と記載のあるものは測定限界値以下をあらわす。



● 揮発性有機化合物濃度

		(volppmc)				
	測定箇所	排出基準	2016年度	2017年度	2018年度	
揮発性有機化合物濃度	工場棟排気口	北側①	600	8.3	110	48
		北側②	7.5	120	49	
		北側③	8.4	120	89	
		北側④	7.6	100	100	
	溶剤燃焼装置(RTO)	入口	1,100	990	510	
		出口	15	9.9	19	



工場棟排気口 北側①~④



工場棟排気口 南側



溶剤燃焼装置(RTO)